



学力向上の方策を探る

8月31日（水）第1回学力向上会議を行いました。これは、日田教育事務所・玖珠町教育委員会・北山田中学校・学校運営協議会・PTA本部役員・学校代表が一堂に会して、それぞれの立場から本校の学力向上の方策を探るものです。

始めに、本校の学力・体力の向上や挨拶の取組を説明した後、協議を行いました。概略をお知らせします。

家で宿題のわからないところを教えていると、**「学校とやり方が違う」**と言われて困っている。

この問題は、多くの保護者が抱える困りではないでしょうか。まずもって、子どもの学習に真剣に向き合っていただいていることに感謝したいと思います。それは、度々申し上げてきましたが、子どもの学習内容に関心を示すことが、学習意欲を高めるための最大の方法だからです。

多くの意見が交わされましたが、最終的に子どもの混乱を防ぐために、原則学校で教えた通り（教科書通り）に教える。それでも不明な点は、学校で尋ねさせるのがよいと、まとまりました。

県学力定着状況調査（質問紙）で、「**朝食**を毎日食べている」が低いのが気になる。「朝自分で起きている」も低いので、朝起きるのが遅いので、食べる時間がないのではないかと。

このご指摘には、学力との関連もあるので、掘り下げて調べるとともに、家庭との連携をしていく必要があるということになりました。学校で早急に調査し、対応策を練っていきたいと思います。

最後に、事務所・教育委員会からご指導をいただきました。

○北山田小学校は、数年前に「学力向上プロジェクト」や「小1プロブレム解消」の指定を受けて以来、組織的な取組を継続することで成果を上げ、玖珠町の牽引役を果たしている。

○大学入試試験がマークシートから記述式になる（2020年問題、今の中2から該当）ので、北山田小が記述問題に焦点を当て努力していることは、将来を見越した取組といえる。

今の取組の継続・発展を

学力向上会議終了後、第2回学校運営協議会で、1学期の学校運営についての振り返り（評価委員会）を行いました。これは、教職員・保護者・児童のアンケート等をもとに学校が行った**自己評価**について、学校運営委員会の委員の皆さんにご意見を伺うものです。委員さんからは、以下のようなご意見をいただきました。

○確かな学力の育成（活用力「記述力・説明力」の育成）について

- ・全校で組織的に取り組むこと（ドリル・短作文タイム等）が、良い結果につながっている。

○体力の向上と運動の日常化について

- ・目標に対する達成率が良い。運動は少々きつなくても、達成感が味わえれば、次への意欲も出てくる。
- ・学童記録会のお世話をしているが、良い経験になるので、奮って参加してほしい。

○あいさつの徹底について

- ・ワンストップ挨拶運動の一段の向上が見られる。
- ・外で会った子どもが挨拶をしてくれてうれしかった。継続することで、成果が表れている。
- ・大人から「気持ちの良い・心のこもった挨拶」をすることで、さらに良くなるのではないかと。
- ・挨拶は、人生の裾野を広げると思うので、結果にかかわらず、今後も続けてほしい。

○北山田小の子どもの長所や課題など

- ・長所は全校児童が仲良く、6年生が下級生の面倒を良くみている所。課題はもう少し積極性がほしい。

委員の皆さん、ご多用の中、貴重なご意見を有難うございました。

子どもたちの更なる成長をめざして

最後に、2学期の学校運営について説明し、ご承認をいただきました。大きな変更点はありませんが、学校・家庭・地域が一層協働していくことを確認しました。尚、1学期の自己評価（学校関係者評価）及び2学期の取組については、HP（ホームページ）に掲載しています。

ありがとうございました

8日のフリー参観日には、多くの方がご来校され、授業やの作品展を参観していただきました。

